



ここでしかできない学びがある

本校の普通科では、「農業と環境」という選択科目があり、実際に畑で野菜を栽培します。また普通科ではあまり例がない「デュアルシステム」という就業体験を行っています。今回は、他の普通科では学べないユニークな取り組みを紹介します。

「農業と環境」は、2年生で週4時間、3年生で週4時間学習します。本校にはかつて農業科があり、そのときの農場が残っています。その農場を使い、様々な野菜を栽培しています。特に珍しい野菜としてコールラビや超大球キャベツ、カーボネロなどを栽培しています。コールラビは、西洋野菜の1種でキャベツの仲間です。カーボネロもイタリアの黒キャベツです。PTAの協力で種や苗を購入し、生徒が育てて収穫しています。収穫した野菜は、生徒が家に持ち帰るほか、町内の子ども食堂などに寄付しています。12月上旬には冬どりのタマネギを収穫しました。タマネギの収穫時期は通常栃木県では6月頃ですが、セット栽培という方法で収穫時期をずらすことができます。収穫時期をずらして商品価値を高めることをねらって栽培しました。学んでいる生徒のほとんどが農業は初めてですが、3年生の中にはその面白さにはまり農業系の大学への進学を決めた生徒もいます。

デュアルシステムは、普通科2年生が一定の期間、授業の中で毎週決まった曜日・時間に事業所に出向いて行う就業体験(インターンシップ)です。本校では今年から始めました。今年は、2名が地元の「創生なかがわ」という地域おこし会社で実習をしました。東京で行う特産品の販売イベント参加や「創生なかがわ」が企画する那珂川学のイベント運営などを体験し、商品の販売促進や事業企画について学びました。今後は、受け入れ事業所を拡大し、多くの生徒が体験できるようにしたいと考えています。

他にも、本校水産科の特色を生かした内容を普通科の生徒が学ぶことができる「リバースタディ」という選択科目もあります。こうした取り組みをとおして、社会で通用する様々な力を身につけていくことをねらいとしています。本校の普通科には、他の普通科にはない学びがあります。ぜひ、本校で学んでみませんか。

【フォトギャラリー】「農業と環境」の授業風景です

